

平成22年度 事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

学校法人身延山学園

平成22年度事業報告書 項目

〔1〕法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

○身延山大学

仏教学部 仏教学科・福祉学科

○身延山高等学校

普通科

2. 学部・学科等の入学定員、入学者数の状況（平成22年5月現在）

○身延山大学（合計118名）

仏教学部

仏教学科 定員20名 入学者数9名 編入学者数8名

仏教福祉学科 定員20名 入学者数12名 編入学者数1名

○身延山高等学校（合計83名）

普通科 定員40名 入学者数32名

3. 役員の人数（平成22年5月現在）

○理事 9名（うち、理事長1名）

監事 2名

4. 教員の人数（平成22年5月現在）

○身延山大学（合計67名）

仏教学部 教授13名 准教授3名 講師5名

非常勤教員46名

○身延山高等学校（合計19名）

普通科 専任教諭 12名

非常勤講師7名

5. 職員の人数（平成22年5月現在）

○身延山学園 専任2名

○身延山大学 専任13名 嘱託4名 パート3名

○身延山高等学校 専任1名

〔2〕平成22年度の事業の概要

本学園では、建学の精神に謳われた「社会のために身を以て尽くすことの出来る人間の養成」という目標の実現のために、伝統ある僧侶養成に加えて、仏教精神を胸に抱いて福祉に携わる専門家の養成を目指す。

＜学園の使命として以下の点に集約する＞

1. 募集広報の充実
2. 知の創造・継承（研究）
3. 教育機能の充実
4. 宗門連携の実践
5. 学生生徒生活の支援
6. 地域に貢献する学園づくり
7. 社会に期待され活躍できる人材輩出
8. 卒業生に愛される学園
9. 専門性の高い職員育成
10. 健全な財政基盤の確立

・当該年度の主な事業の目的・計画

I 目標の重点

1. 学園
 - (1) 健全な財政基盤の確立
 - (2) 学園の将来を見据えた方向性の確立
2. 大学
 - (1) 学生募集
 - (2) 教育・研究の強化
3. 高校
 - (1) 全国一の学校づくり
 - (2) 社会に貢献できる有為な人材の育成
 - (3) 生徒募集活動推進

II 目標の具現

1. 学園
 - (1) 経費の削減
 - (2) 予算の効率的運用
 - (3) 外部識者、コンサルタントからの指導、助言
2. 大学
 - (1) 学生募集のため、全国寺院、宗務所、等への訪問回数の増加
 - (2) カリキュラムの特色化
3. 高校
 - (1) 教育活動への取り組み
 - (2) 基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学び考える力「確かな学力」を育てる
 - (3) 中学校訪問・広報活動推進

1. 学園

1. 健全な財政基盤の確立

(1) 財政の健全化

① 収入

A 寄付金 — 学長、法人事務局長による本山、宗務院、宗門各寺院等への働きかけを行なった。

B 補助金 — 国庫補助金の対象となる事業を積極的に行い、交付金の増加に努めた。

② 支出

A 人件費 — 定額昇給の見直しを行なった。

B 教育研究費・管理経費 — 職務手当をはじめとした各種手当、旅費・日当の見直し等を行った。

(2) 主な事業

① 図書館の外壁(雨漏り)工事、空調設備工事

② 行学寮トイレ改修工事

③ 身延山高校の空調設備設置工事

2. 学園の将来を見据えた方向性の確立

(1) 刷新委員会の立ち上げ

4 月 ～ 10 月開催(月 1 回) 委員 13 名(学内委員 7 名 学外委員 6 名)

12 月の理事会にて審議報告および提言を行なった

(2) コンサルタント会社との提携

4 月にコンサルタント会社である船井総合研究所と契約、多方面からの意見提供を受けた。9 月に学内説明会を実施。

2. 大学

入試・広報部門

1. 入学志願者勧誘

(1) 仏教学科

① 全国寺院・宗務所・同窓会・同窓会長宅等訪問

訪問先 80 先超 訪問時期 5 月 ～ 9 月 訪問者 10 名

(2) 福祉学科

① 山梨県内・静岡・長野県内高校、同地区内学習塾訪問

訪問先 250 先超 訪問時期 5 月 ～ 年内 訪問者 10 名

2. ホームページの改定

ホームページでの広報機能を高めるべく改定を実施。

3. オープンキャンパスの実施

7 月 - 5 日間 9 月 ～ 10 月 1 週間 合計 約 20 名の参加者

4. 入学試験の実施

- (1) 一般公募制推薦入学試験 A - 11 月 (本学) 12 月 (東京)
- (2) 一般公募制推薦入学試験 B - 12 月 (本学)
- (3) 一般入学試験 A - 2 月 (本学)
- (4) 一般入学試験 B - 2 月 (本学)
- (5) 一般入学試験 C - 3 月 (本学)

5. 入学者選抜における高・大連携

- (1) 特別推薦入学 - 身延山高校の生徒が対象

本学で 6 人の教員により年 12 回、高校生特別講座を開講し、同校生徒が受講。身延山大学の講義の実際と魅力を知らせている。講義には毎講義 10 名～20 名が受講。

- (2) 指定校推薦入学 - 山梨県、静岡・長野県の通学圏にある指定校を希望する高校の生徒が対象

過去数年間にわたる受験生の人数、当該学校からの学生の入学後の勉学状況、また当該高校からの申し出、地域連絡性を考慮。指定校の数は現在 155 校である。

教務部門

1. 学部教育課程

- (1) 新入生ガイダンスの実施 (4 月)

4 月の開講前に大学生活を送るうえでの全般的な指導。

- (2) 新入生オリエンテーションの実施 (4 月)

一泊二泊で学外施設にて履修指導、資格関係ガイダンス。

- (3) 在校生に対するガイダンスの実施 (4 月)

履修指導、資格関係ガイダンス。

- (4) ゼミナール・ガイダンスの実施 (4 月)

3 年生を対象としたゼミナール・ガイダンス。

2. オフィスアワーの実施

各教員により週に 2 時間以上実施。

3. 留年者に対する特別指導ガイダンスの実施

各学年終了時点で単位取得状況が芳しくない者に特別指導ガイダンスを実施し、単位取得状況の改善を促した。

学生支援部門

1. 学生への経済的支援

- (1) 奨学金制度の説明

4 月に実施 50 名超が参加 学内奨学金については支援委員会で検討、学外資金については申請手続きの補助を行なった。

なお、4 月以降も年間を通して、奨学金・学納金についての相談を受付けている。

2. 健康相談等

(1) 定期健康診断の実施

年度当初のガイダンス時(4月)実施

内容：身長・体重・視力・血圧・内科検診・胸部X線間接撮影・心電図・尿検査

受診率90%

これらの受診結果を基に、学生個々に生活指導を行なうと同時に、メンタルな健康保持のため、面接時に状況を聴取している。

学生支援委員会のもと学生支援室の職員が主にその担当となるが、女子学生の増加に伴い、女性教員が担当を分担している。

就職部門

(1) 就職セミナーの実施

5月、11月、3月の3回実施。延べ80名超が参加。

(2) 就職相談の受付

年間を通して就職支援担当者が相談受付を行っており、就職率が高い。

図書部門

(1) オリエンテーションの開催(4月)

(2) 身延山宝物館・身延山大学図書館合同による展覧会の実施(5月～6月)

(3) 佛教図書館協会研修会(当大学が当番)を1泊2日で実施(11月)

参加大学18 参加者25名 当大学教授による講演を実施

東洋文化研究所

(1) 日蓮宗教学研究発表大会への参加(立正大学 10月)

(2) 所報の発行(1月)

(3) ラオスプロジェクトの実施(2月)

(4) 研究例会の開催(年2回)

(5) ラオスプロジェクト報告書の作成(ラオス語版)

3. 高校 (高校躍進5カ年計画推進事業に則る)

1. 教育活動

(1) 学習活動

① 自宅生放課後学習会の実施(月・火・木・金)

② 定期試験2週間前の学習強化期間の設定

7校時の授業設定とゼミ班による学習指導・個別指導・朝小テストの実施。

③ 本院寮の定期試験2週間前よりの学習指導

④ 高大連携：高校生特別講座(年10回)

(2) 諸活動

① 新入生歓迎会(5月)

② 新入生宿泊研修(5月)

③ 3年ハワイ修学旅行(5月)

- ④ 1・2年奥之院登詣（5月）
 - ⑤ 曙大豆種まき（6月）：学園祭にて販売
 - ⑥ 緑のカーテン：エコ活動として（6月～）
 - ⑦ ボランティア活動：みのぶ荘清掃（8月・12月）
 - ⑧ 校内弁論大会（8月）：延山祭弁論大会にて発表
 - ⑨ 体育祭（9月）
 - ⑩ 延山祭（10月）
 - ⑪ 山梨県芸術文化祭総合開会式参加と手話通訳
 - ⑫ 百人一首大会（1月）
 - ⑬ スキー教室：1・2年（1月）
 - ⑭ 第1回身延町三校合同文化発表会（1月）：手話部、雅楽部、茶道部、書道部
 - ⑮ 3年県内研修（2月）
 - ⑯ 卒業生を送る会（2月）
- (3) 本山出仕
- ① 読誦会御廟参（毎月13日）
 - ② 三大会（釈尊降誕会・開闢会・宗祖涅槃会）出仕
 - ③ 四大法難出仕（伊豆法難会・松葉ヶ谷法難会・小松原法難会）
 - ④ 新入生霊席参拝（4月）
 - ⑤ 大阪・比叡山行脚（10月）
 - ⑥ 節分会（2月）
- (4) 生徒指導
- ① 身延駅前指導（4月・7月・8月・12月・1月）
 - ② 身延線乗車指導（5月・2月）
 - ③ 携帯電話教室（4月）
 - ④ 誓願式（4月）
 - ⑤ 薬物乱用防止教室（7月）
 - ⑥ 自転車及び交通安全講習会（7月）
 - ⑦ 防災訓練：避難訓練・三角布応急法・AED（12月）
- (5) 進路指導
- ① 宿坊での就労体験（5月～8月）
 - ② 就職ガイダンス：キャンパスジョブカフェ（6月）
 - ③ 各学年進路指導調査（5月・8月・12月）
 - ④ 入学試験・就職試験の事前面接指導
 - ⑤ 卒業生による講話（3月）
- (6) その他
- ① 国際協力講演会：「ラオスの子供達」伊藤圭通上人（6月）
 - ② 職員研修：ファシリテーション（6月）
 - ③ ラオス講演会：身延山大学教授柳本先生（11月）
 - ④ 山梨県第一部宗務所布教師会：布教実践研修会本校にて実施（11月）
 - ⑤ 赤十字国際交流：海外赤十字メンバー2名を2日間受け入れ
 - ⑥ エイズ講演（12月）
 - ⑦ 田富みかさ幼稚園交流会（12月・2月）
 - ⑧ ラオス学校贈呈式：小澤・佐野先生・生徒3名（3月）

2. 設備管理

- ① 3階空調設備の設置（平成21年度は2階）

3. 同窓会・師親会

- ① 師親会（PTA）総会（5月）
- ② 山梨県同窓会に校長・教頭出席（7月）
- ③ 九州延山会に校長出席（8月）
- ④ 千葉県同窓会に校長出席（3月）

4. 生徒募集

- ① 学校説明会（6・7・8・9・10・11・12月）
- ② 山梨・静岡中学校訪問（6～7月・12月・1月）
- ③ 生徒による出身中学校訪問（夏期休暇中）
- ④ 校長・望月寮監・石原副寮監による福井県・石川県・兵庫県・大阪府寺院訪問
及び大阪同窓会出席
- ⑤ 学外協力委員に市川英昭先生を任用、静岡県中学校訪問（10月）
- ⑥ 中学校教員対象学校説明会（11月）
- ⑦ 節分会にて広報活動（2月）
- ⑧ 中学校生徒の宿坊体験（通年）
- ⑨ 身延中学校、下山中学校、中富中学校での学校説明会（10月）
- ⑩ ホームページの更新と発信
- ⑪ 「日蓮宗新聞」・「みのぶ」誌への広報掲載
- ⑫ 静岡県富士富士宮地方新聞「岳南新聞」への広報掲載
- ⑬ 学校案内・学校だより「法灯」・入学試験要項等の諸資料の送付

5. 平成23年度入試状況

受験者数：43名

合格者数 41名

入学者数：36名（仏教コース：7 普通コース：29）

（男子：29 女子：7）

6. 平成22年度卒業生進路状況：20名

大 学 身延山大学：8名（仏教学科：6名 福祉学科：2名）

立正大学：1名（仏教学部）

専門学校：2名

就 職：9名